

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	A
審査とりまとめ役 (報告者)	坂上 貴之
報告日	2021 年 10 月 18 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PC-026	経済的困難を抱える単身中高年男性の援助要請はどのように抑制されるのか	*村山 陽、山崎 幸子、長谷部 雅美、高橋 知也、山口 淳、小林 江里香
優秀発表賞	1	PI-053	ダーウィンの“相反の原理”はヒト表情にもあてはまるか？	*吉田 弘司、新田 芙美、堀口 智佳
	2	PD-119	腎移植レシピエント (移植者) のための精神的ケアプログラムの開発	*鈴木 吏良、山内 慶太
	(3)	—	—	—

選考経緯

いずれも素晴らしい発表であり、比較的、評者の得点についてもまとまっていたとの印象がある。上位の発表間での優秀さの差異はそれほどあるわけでは無いが、心理学らしい視点に基づき、着実な方法に基づいて行われ、かつ現在のコロナ禍のもたらす今後の要請にも応えていると考えられた、**PC-026** を最終的には選び出した。

**PC-026** の優れた点は、研究を重層的に展開し結論を導いている点にある。まず、生活困窮者である男性高齢者 **83** 名に構造化面接を行い、彼らがそのような状態にあっても将来を展望することなく、援助要請にも消極的であることを見出す。引き続いて中高齢者 **1200** 名に **Web** 調査を行って将来展望意識尺度を作成し、単身中高齢者が高齢期に至るまで比較的将来への不安を持っていないにもかかわらず、将来への展望をあきらめる意識が強いことを抽出する。そしてこれを基に「経済的苦境が将来展望を諦める意識(将来諦め)を高め、それにより援助要請が抑制される」という仮説を立て、本研究で東京都 **A** 区の単身者 **50-70** 代から無作為抽出した **4000** 人を対象に郵送調査を行ったものである。男性は女性よりも援助要請意図が有意に低いこと、男女ともに現在の経済状態が苦しいほど他者への不信が強くなりそれが援助要請を抑制すること、特に単身男性中高齢者は経済状態が苦しいことで将来への諦めが強まり援助要請を抑制していること、などが明らかにされた。今後、ポストコロナ禍での一層の経済的困窮が見込まれる中、こうした点を明確にした研究の価値は高い。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	B
審査とりまとめ役 (報告者)	阿部恒之
報告日	2021 年 10 月 7 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PC-159	ニホンザルにおいて劣位性を示す表情は攻撃交渉後の対立状態を和らげるのか？	上野 将敬・山田一憲・中道 正之
優秀発表賞	1	PC-011	位置情報ゲームの POI (Point of Interest) 密度と地域居住者の社会心理諸指標の関連	三浦 麻子・小森政嗣
	2	PC-048	新型コロナウイルスに対するリスク認知と集合的感情	楠見 孝・嘉志摩佳久
	(3)	—	—	—

選考経緯

1. 最多得票数 3 票の発表が 5 本、2 票が 8 本となりました。
2. 取りまとめ役の 3 票は上記 3 本に入れました。よって 4 票が 3 本となり、これらを最優秀発表 1 本、優秀発表 2 本の候補としました。
3. その上で、この 3 本から特に優れていると判断した「PC-159」を最優秀論文とし、他の 2 本を優秀論文としました。
4. 最優秀の 1 本は、表情の起源を巡る、特に卓越した研究と認めました。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	C
審査とりまとめ役 (報告者)	金井 篤子
報告日	2021 年 10 月 26 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PH-008	視聴覚間における感覚間協応の因子構造の探索	大竹 裕香、田中 観自、山本 健太郎
優秀発表賞	1	PI-055	場所の価値の心理的表象と神経基盤の検討	八田 紘和、阿部 修士、中井 隆介、蘆田 宏、柳澤 邦昭
	2	PC-049	ギャンブル断ち習慣の拡散—オンライン自助グループの社会ネットワーク分析—	横谷 謙次
	(3)	—	—	—

選考経緯

1. 理事の投票の結果、最多得票数 8 票の発表が 2 本、7 票、6 票、5 票、4 票がそれぞれ 1 本となりました。
2. 上記の結果を参照のうえ、取りまとめ役の 3 票を投票したところ、9 票が 1 本、8 票が 2 本となりましたので、9 票の発表を最優秀発表賞とし、8 票の発表 2 本を優秀発表賞としました。
3. 最高点を獲得した「PH-008」は、視聴覚間における感覚間協応のメカニズムに関し、ち密な実験計画により、意味的協応および感覚的協応の少なくとも異なる 2 つのメカニズムが関わっている可能性を示した、特に卓越した研究と認めました。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	D
審査とりまとめ役 (報告者)	佐藤 隆夫
報告日	2021 年 10 月 23 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PI-010	古い創業年の表示が飲食店広告の消費者評価を高める	前澤知輝、河原 純一郎
優秀発表賞	1	PO-005	自閉スペクトラム症及び定型発達の小・中学生における感覚処理異常傾向と内在化問題の関連	辻 百合香、今泉修、菅原ますみ、生地 新
	2	PA-006	質問紙調査における回答の系列依存性に関する検討	島田 大祐、片平健太郎
	(3)	PD-066	コロナ下での SNS 相談 (II)	中山真孝、畑中千紘、鈴木優佳、粉川尚枝、宮田智基、杉原保史、河合 俊雄

選考経緯

1. 上位2件が8票、それに次ぐ2件が5票獲得しています。
2. 最上位2件を見比べると、PI010が相対的には優れていると判断し、PI-010を特別優秀発表賞とし、8票の残り1件を、5票獲得の2件と共に優秀発表賞としました。従って、優秀発表賞は3件となります。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	E
審査とりまとめ役 (報告者)	鈴木 華子
報告日	2021 年 10 月 21 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PO-084	オンデマンド遠隔方式による乳児の視知覚機能評価手法の開発	白井 述、河合 瑞季、伊村 知子、大塚 由美子
優秀発表賞	1	PG-005	精神疾患患者における加速度脈波のカオスアトラクタの特徴について	柴山 笑凜、鈴木 平
	2	PA-008	バーチャルリアリティによる心理学実験はどこまで正確か: Python 言語環境と VR ヘッドマウントディスプレイによる視聴覚刺激制御の時間精度	立花 良、松宮 一道
	(3)	PD-050	インターネット・ゲートキーパー活動が相談者の自殺念慮に与える影響	末木 新、高橋 あすみ、伊藤 次郎

選考経緯
<p>代議員の審査結果は PO-084 (8 票)、PA-008 (6 票)、PG-005 (6 票)、PD-050 (4 票)、以下 3 票 4 件、2 票 4 件、1 票 13 件であった。</p> <p>取りまとめ役の 3 票を投票した結果、PO-084 (9 票)、PG-005 (7 票)、PA-008 (6 票)、PD-050 (5 票) となり、その他演題の得票数は 3 票以下となった。</p> <p>その結果、まず得票数 1 位である PO-084 を特別優秀発表賞とした。次に、得票数 4 位と 5 位の間に 2 票の差があることを考慮し、4 位までの PG-005、PA-008、PD-050 を優秀発表賞とした。</p>

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	F
審査とりまとめ役 (報告者)	丹野 義彦
報告日	2021 年 10 月 20 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PA-009	親密他者の視点取得を活用した VR セルフカウンセリングの効果	山下 裕子、山本 哲也
優秀発表賞	1	PK-003	目は口以上にものを言うーアイトラッカーを用いた認知症者における出来事の記憶に関する検討ー	花塚 優貴、二村 明德、平田 聡、Miller Michael、緑川 晶、河村 満
	2	PI-012	物語読書習慣と社会認知の個人差の関連に関する英日二国間研究	鈴木 敦命、小山内 秀和、Liu Chang Hong
	(3)	—	—	—

選考経緯

1. 最多得票数 10 票の発表が 1 本、9 票が 1 本、8 票が 1 本となりました。
2. この結果を受けて、特に優れていると判断した「PA-009」を最優秀論文とし、他の 2 本「PK-003」および「PI-012」を優秀論文としました。
3. 最優秀の 1 本は、VR セルフカウンセリングに関して、コロナ禍の状況において、特に卓越した研究と認めました。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	G
審査とりまとめ役 (報告者)	原田 悦子
報告日	2021 年 10 月 21 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PC-098	集合知はメタ学習のレベルで発生する	内藤 碧、亀田 達也
優秀発表賞	1	PC-144	人生満足感の幻想的上昇に関する文化比較—コントロールの感覚に着目して—	千島 雄太
	2	PL-017	自他間の資源分配における不平等回避が他者の職業によって影響されるメカニズムの検討—効用モデルと意味空間モデル (word embedding) によるアプローチ—	上島 淳史、瀧川 裕貴
	(3)	—	—	—

選考経緯
<p>1. 得票数の結果では、10 票 1 本、7 票 1 本、4 票の発表が 2 本 (次点としては 3 票が 2 本) となりました。</p> <p>2. 取りまとめ役の 3 票は上記 3 本に入れました。よって 10 票、7 票、5 票各 1 本となり、これらの票数に応じて、最優秀発表 1 本、優秀発表 2 本と御提案させていただきました。</p>

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	H
審査とりまとめ役 (報告者)	三浦 麻子
報告日	2021 年 10 月 18 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PI-001	ささやくシルエットー声の音色の純粹培養ー	内田 照久
優秀発表賞	1	PC-073	未来への一步, 今を乗り越えるためにー訪問看護師における未来に向けた継承的捉え直しがコロナ禍における精神的健康にもたらす効果ー	平野 智子、藤 桂
	2	PH-001	同期タッピング課題における非対称な誤差修正過程	富田 健太、大平英樹、片平 健太郎
	3	PN-007	格差是正と再分配意思決定に関する実験的検討	高橋 茉優、黒田起吏、亀田 達也

選考経緯

特別優秀発表賞は 8 票, 着眼点がユニークでプレゼンテーションも含めて楽しい研究でした。タイトルが目を引くという以上の実がありました。優秀発表賞は 1 報が 6 票, 2 報が 5 票でしたが, どれも手堅い研究だったという印象です。5 票の 2 報から 1 報に絞り込もうかと考えましたがいずれにも報告者が投票していないという意味で甲乙付けがたかったので, 審査をさせていただき方々のご意見を優先して, 両者受賞としました。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	I
審査とりまとめ役 (報告者)	青野 篤子
報告日	2021 年 10 月 7 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PD-129	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大に起因する反復的・持続的な自粛生活が心身の健康にもたらす影響—緊急事態宣言下における大規模オンライン縦断調査—	山本 哲也、内海 千種、鈴木 菜穂、菅谷 渚
優秀発表賞	1	PC-131	多数派同調バイアスは存在するのか?	藤川 真子、中西 大輔、横田 晋大
	2	PC-001	自信のないメンバーによる投票バイアスが集合愚を生む	黒田 起吏、高橋 茉優、亀田 達也
	(3)	—	—	—

選考経緯

1. 最多の 9 票を獲得した発表が 1 本 (PD-129), 6 票を獲得した発表が 2 本 (PC-131, PO-050), 5 票を獲得した発表が 4 本 (PC-001, PH-002, PI-002, PO-089) でした。
2. 取りまとめ役の 3 票は上記の PD-129, PC-131, PC-001 に入れました。よって 10 票が 1 本 (PD-129), 7 票が 1 本 (PC-131, 6 票が 2 本 (PO-089, PC-001) となりました。同票の PO-089 と PC-001 を吟味した結果, PC-001 の方がすぐれていると判断し, このうち, PD-129, PC-131, PC-001 を優秀論文候補としました。
3. その上で, この 3 本から特に優れていると判断した PD-129 を最優秀論文とし, 他の 2 本を優秀論文としました。最優秀の 1 本は, 喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症がもたらす自粛生活の長期的影響を総合的に検討し, 有益な知見を提供するすぐれた研究と認めました。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	J
審査とりまとめ役 (報告者)	岩満 優美
報告日	2021 年 10 月 18 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PM-017	ポジティブ感情制御の神経基盤— fMRI を用いた方略特異的・共通脳領 域の探索—	辻本 将之、齊藤 俊樹、松崎 泰、小 嶋 璃沙子、川島 隆太
優秀発表賞	1	PI-017	心的回転におけるボディ・アナロジ —効果の 2 つの経路—事前登録した オンライン実験による検証—	武藤 拓之
	2	PM-034	新型コロナウイルス感染症流行下に おけるストレスとレジリエンスの時 間的变化—コロナ禍以前から感染拡 大期の縦断調査—	渡邊 言也、竹田 真己
	(3)	—	—	—

選考経緯

1. 最多得票数 9 票の発表が 1 本、7 票の発表が 1 本、5 票の発表が 1 本でした。
2. 取りまとめ役の 3 票を入れた場合には、最多得票数 10 票の発表が 1 本、8 票の発表が 1 本、5 票の発表が 1 本でした。
3. そのため、得票数の多い順に、最多得票数 10 本である発表を特別優秀発表賞とし、その次に得票数が多い 8 本と 5 本の発表を、優秀発表賞としました。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	K
審査とりまとめ役 (報告者)	内山 伊知郎
報告日	2021 年 10 月 19 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PM-003	悲しみの身体表出と泣き表出語の関連	白井 真理子、曾雌 崇弘
優秀発表賞	1	PD-041	窃盗症における窃盗行動喚起に関連する認知的要因の検討	浅見 祐香、石川 満里聖、野村 和孝、嶋田 洋徳、大石 裕代、大石 雅之
	2	PE-002	ストーキング事案に対する評価に影響を与える要因	*鈴木 拓朗
	(3)	—	—	—

選考経緯

1. 最多得票数 6 票の発表が上記の 3 本となり、その他の発表は得票数が 3 票以下と大きく差が開きました。
2. 取りまとめ役は、この 3 本が優れていると判断しました。さらに学術面、参加者の評価などから、特に優れていると判断した「PM-003」にのみ取りまとめ役の票を投票し、その得票数を 7 としました。
3. その結果、得票数 7 の「PM-003」を特別優秀発表、得票数 6 の他の 2 本（「PD-041」と「PE-002」）を優秀発表としました。。

2021 年度学術大会特別優秀発表賞・優秀発表賞選考結果報告

担当カテゴリー (A~L)	L
審査とりまとめ役 (報告者)	大川 一郎
報告日	2021 年 10 月 22 日

		ID	タイトル	発表者
特別優秀発表賞	1	PB-003	日本人のレジリエンスと運動習慣の 関連—居住地域を考慮した階層線形 モデル—	上野 雄己、平野 真理、小塩 真司
優秀発表賞	1	PH-005	物体カテゴリー情報による刺激間の 結びつきが知覚時間に与える影響	佐良土 晟、山本 健太郎、渡邊 克巳
	2	PI-071	表情筋への感覚閾値下の微弱な電気 刺激が他者表情認知に影響する	萩山 直紀、江口 佳那、瀬古 俊一、 熊野 史朗、西條 直樹

選考経緯

1. 最多得票数 7 票の発表が 3 本、5 票が 1 本となりました。
2. 取りまとめ役の 3 票は上記 3 本に入れました。よって 8 票が 3 本となりました。
3. その上で、3 本について、改めて確認しました。その上で、この 3 本から特に優れていると判断した「P-003」を最優秀論文とし、他の 2 本を優秀論文としました。
4. 最優秀の 1 本は、レジリエンスと運動習慣の関連性を、13007 人を対象にして居住地をも考慮した回想線形モデルによって明らかにした、卓越的な研究です。